

首都高速道路 中央環状品川線

施設管理者(事業者)：東京都 建設局 第二建設事務所、首都高速道路株式会社

施設所在地：東京都品川区八潮三丁目

調査見学期：平成 22 年 1 月 18 日（土木学会主催 見学会に参加）

東京都建設局と首都高速道路株式会社は、平成 25 年工事完成を目指して中央環状品川線(9.4km)の建設を精力的に進めています。

この中央環状品川線は、中央環状線(全線 47km)の南側を形成し、既に開通した高速 3 号渋谷線、平成 22 年 3 月 28 日開通予定の中央環状新宿線の大橋ジャンクションと高速湾岸線に新設する大井ジャンクションを接続するものです。

この路線が完成すると、首都高速ネットワークが効率的良く機能することによる大きな経済効果が生まれることに加え、高速都心環状線（C-1）など慢性的な渋滞が緩和されることから波及的に一般道路の混雑も緩和されることになり、環境面の改善効果が期待されています。

見学した工事は、都内品川区八潮に建設される大井北換気所に隣接して造られた立坑から発進するシールド工事で、2 つに区分された立坑から 2 台のシールドマシンで大橋ジャンクションへ向かって工事が進められています。

この工事の特徴は、二つの工区とも泥土加圧型シールドが採用され、近接してほぼ平行に区間長 8km を一気に掘進することです。一次覆工は、RC セグメントを主体に防爆型となっており、二次覆工はありません。このために経済的な断面で施工されています。



大橋ジャンクション方向

- ・Φ12.55m L 14.2m
- ・リレービット交換装置付



大井ジャンクション方向

- ・Φ12.53m L 12.845m
- ・強化型先行ビット付

「写真提供：首都高速道路株式会社」

「写真提供：東京都パンフレットより」